

令和2年度（2020年度）建設常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和2年（2020年）11月11日（水）
- 2 視察者 建設常任委員会（8名）
高木健次（委員長）、楠本千秋（副委員長）、城下広作、
松田三郎、井手順雄、淵上陽一、河津修司、岩田智子

3 視察の概要

（1）立野ダム建設現場（南阿蘇村）

立野ダムは、白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした洪水調整専用ダム（流水型ダム）である。

今回の視察では、現在行われている工事の内容及び進捗状況について調査した。

国土交通省立野ダム工事事務所から、一昨年（2018年）の8月に基礎掘削に着手し、今年10月1日からコンクリート打設に入り、今後は1日最大24時間でコンクリート打設を行うとの説明があった。



（2）国道57号現道部（南阿蘇村）

熊本地震により阿蘇大橋地区で大規模な斜面崩壊が発生し、国道57号現道部は通行止めになっていたが、砂防事業等が完了し、今年10月3日に開通した。

今回の視察では、地震後の被害状況と現在の復旧状況について調査した。

国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所から、斜面での工事では、安全性が確保できるまでは、無人施工を行い、最大14台の重機を遠隔で操作し、迅速に作業を進めることができたとの説明があった。



(3) 阿蘇大橋復旧事業（南阿蘇村）

熊本地震により崩落した阿蘇大橋の復旧事業（架替工事）が国による直轄代行事業として行われている。

今回の視察では、地震後の被害状況と、事業の進捗状況について調査した。

国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所から、延長525m、ラーメン構造の橋であり、工事は橋脚を造って、橋脚から橋桁を両側に延ばしていった。工事は順調に進んでいて、令和3年3月に開通する予定との説明があった。



(4) 国道57号北側復旧ルート（阿蘇市）

熊本地震で通行止めとなった国道57号現道に替わる熊本と阿蘇をつなぐ幹線道路として、当ルートの工事が進められた。平成31年2月に二重峠トンネルが貫通し、今年10月3日に全線開通した。

今回の視察では、地震直後から開通までの経緯等について調査した。

国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所からは、今回の工事ではECI方式を採用したことにより、工事着手に半年以上、施工に1年以上の工期短縮を図ることができたと説明があった。



(5) 御代志地区土地区画整理事業、中九州横断道路（合志市）

御代志地区土地区画整理事業は、平成30年8月に都市計画決定された。中九州横断道路は、大分市から合志市を経由し、熊本市に至る地域高規格道路として事業が進められている。

今回の視察では、事業の概要及び現在の進捗状況について調査した。

県都市計画課及び合志市から、御代志駅の駅前広場を含む区域を土地区画整理事業により一体的に整備することなど、計画的なまちづくりに取り組んでいるとの説明を受けた。

